



「地球と人間を守れる社会体制創り」の為の地球社会建設決議陳情書

平成 29 年 4 月 10 日

議会

議長

殿

陳情者

〒231-0843 横浜市中区本郷町 3-287

荒木 實

国を守る為の戦争が地球を壊す。経済成長を求めて地球を壊す。国際社会の正義。「富国強兵」の世界。軍事力・巨大な破壊力に支えられた権力者達。「国を守る」為の凄絶なチキンゲームに没頭しています。生存競争の思考の中、地球で生きている人間達が凄絶な経済競争をしています。軍拡と温暖化は進行し、世界の危険と異常さは極限に来ています。地球と人間・生命を守る為に軍備をなくし経済活動を抑えなければなりません。全ての人間が地球で生きています。絶対事実です。生きる為には地球を守れる社会体制を創るしかありません。地球社会建設は、全地球市民に対する絶対命令です。ついては、「地球と人間を守れる社会体制創り」の為の地球社会建設決議をして頂くよう陳情します。

地球社会建設決議草案

- 1) 全ての人間が、地球で共同生活をしている地球市民である。地球市民は、地球の尊さ、人間の尊厳の尊さ、地球世界の美しさ、人間の美しさを知る者である。
- 2) それぞれの持ち場で地球社会の安全と繁栄に努力する事が、地球市民の基本的義務である。
- 3) 地球社会の目的・目標は、地球全生命と共に、全ての人間の人生を守る事にある。その為、教育・雇用・生活を保障する社会技術の開発に努めねばならない。この規定は、人類の戦争放棄を意味し、国家の戦争行為、戦争準備行為の権利がない事を宣言するものである。地球市民を暴力から守る「守り人の組織」は、地球社会で一元化されるものである。
- 4) 人道・人権は地球社会の基本法である。独裁は如何なる形態でも許されない。地球社会は、民主主義が機能する社会格で構築されるものである。行き過ぎた生存競争は、人間の醜悪な心を導き出し、強大な力を求めさせ、この基本法に反する事になる事を知らねばならない。
- 5) 陸・海・空の空間、石油他の資源、先人の遺産は、現存する地球市民全員の共有である。地球市民の生活空間は、貸借関係保障によるものであり、多大な占有はあり得ない。地球社会で領土問題はあり得ない。
- 6) 考える事さえ出来ない時間、そして考えられない偶然の積み重ねで、生命が守られる地球環境がある。この地球環境の保全こそ、全てに優先されるべきである。自然の整然化。国家、集団、個人の利益の計算を超えた巨大で絶対的利益である。地球を守れる人間社会体制の創造は、全市民が参加すれば出来る事である。人間にはその力がある、と確信するものである。

反原発の声は上がっています。核廃絶の声は全くしません。核廃絶は意味がなくなっているのでしょうか。この決議は、「国を守る為」の根拠・口実をなくし、世界中の軍人達の「仮想敵の殲滅訓練」の根拠・口実をなくします。権力者達のチキンゲーム外の間人達が出来る唯一の手段です。

生きる為の努力を始めるか否か。助け合い社会を目指すか否か。です。